

いしかわ 見聞学

ISHIKAWA KENBUNGAKU

いしかわの
「日本一」を
紹介します

石川県の「日本一」。

その一部をここにご紹介いたします。

石川には多くの日本一があります。

伝統工芸王国・石川ならではの「日本一」。

豊かな自然風土、食文化をあらわす「日本一」。

そんな石川県をもっともっと

見て、聞いて、学んでください。



沈金



金箔



人間国宝

(芸能及び工芸技術保持者・人口百万人当り)

6.93人

(全国平均:0.9人)

現在、石川県内の「重要無形文化財保持者」すなわち人間国宝は8名。人口百万人当り「6.93人」であり、全国平均の0.9人と比べ、いかに多いかがお分かりいただけるかと思えます。藩政時代から受け継がれる工芸王国石川ならではの日本一です。



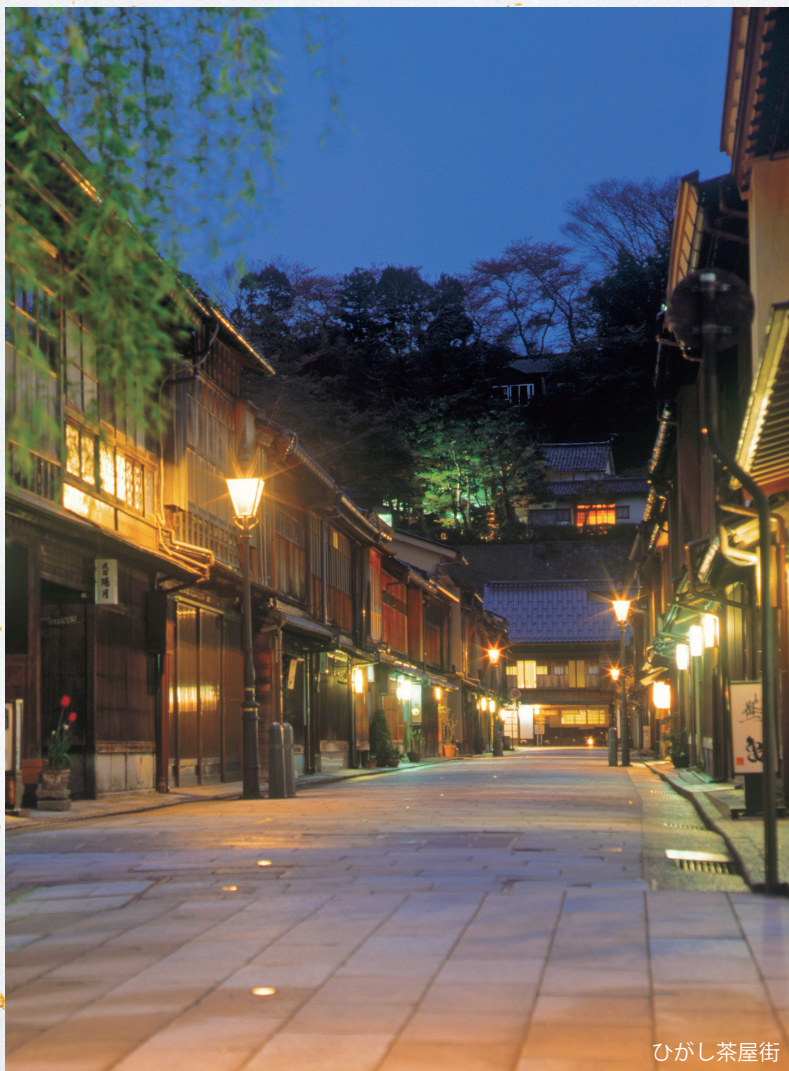
金属箔

(打箔・出荷額)

41億3,000万円

(全国合計:48億9千9百万円)

金属箔全体では約88%。金箔に至っては99%のシェアを誇ります。伝統工芸が盛んであることや、湿度など気候が適していたことなどもその理由ですが、江戸時代に禁じられた箔打ちを加賀藩が密に行い続けたことが大きな要因といえるでしょう。



ひがし茶屋街



重要伝統的建造物群 保存地区数

8地区 (全国合計:117地区)

石川県内の重要伝統的建造物群保存地区は、金沢市の東山ひがし・主計町・卯辰山麓・寺町台、輪島市の黒島地区、加賀市の加賀橋立・加賀東谷、白山市の白峰の「8地区」で全国最多です。選定された地区は文化財保護法等に基づき、将来にわたって景観や町並みが保護されます。

重要伝統的建造物群保存地区とは

城下町や宿場町、門前町など、全国に残る歴史的な集落や町並みの保存を図るため、昭和50年に創設され、国の審議を経たうえで選定される。



漆器製家具

(出荷額)

13億3,400万円

(全国合計:60億6千万円)

石川県には、輪島塗、山中漆器、金沢漆器など有名な漆器の産地が数多くあります。これらの産地で漆塗りにより装飾された家具は、艶やかで美しい見た目はもちろん、堅牢で防水・防腐性・抗菌性に優れています。また、使い続けた劣化部分も漆を塗り直すことで半永久的に使用できるので、環境保全の面からも優れています。目的や用途によっては、漆の表面に、金銀、貝、色漆などを材料に、蒔絵、象嵌、螺鈿等の高度な加飾技術を施すことができる点も大きな魅力です。

他にもこんな「いしかわの日本一」

■焼肉屋店舗数(人口10万人当たり):27.3店(全国平均:14.8店)

■ふぐ類漁獲量:691t(全国合計:4,885t)

《1世帯当たり家計の年間消費金額・金沢市》

■もち:2,809円(全国平均:1,858円)

■れんこん:1,965円(全国平均:1,098円)

■生しいたけ:2,512円(全国平均:2,017円)

■和服:7,604円(全国平均:1,770円)

■教科書・学習参考教材:6,755円(全国平均:2,539円)

※参考資料:石川100の指標(平成29年度版)



※写真はイメージです。



※写真はイメージです。